



市議会を傍聴して

(平成 23 年 9 月市議会)

(原町区 / 中野恵一さん)

平成 23 年 9 月 8 日南相馬市議会定例会が 9 月 8 日より 27 日まで開催された。3 月 11 日の大震災、原子力発電所事故から 6 ヶ月が経過しての議会であるので、どのような質問内容か、答弁の内容はと、特段の関心を持ち傍聴しました。

南相馬市の場合難しい問題があることに気が付きました。警戒区域等、5 区域に分断されている事実です。このような状況でも行政は、市民目線で、心ある対応をしなければならないと感じました。毎年今の時期であれば、田畑は収穫の時期をむかえます。来年は作付けが可能なのか、どの地域が可能でないのか、農家にとって重要な問題です。

答弁等ではあまりにも国、県の対応が遅すぎるので、前に進む希望が見えないのです。一刻も早く、市として強力に押し進める必要があります。今後の市民の健康を守る為の、市民全員の健康診断、ホールボディカウンターでの内部被ばくの検査を早急に実施するべきであります。放射線の除染については、問題、課題が山積み(国、県の方針が明確でない)しています。市民の一人として、できる範囲で除染活動をしていく必要があると思います。このことは弱者、子供のために 3 月 11 日以前の環境に少しでも回復させる活動ではないかと思えます。今後は雇用の確保を推進して、若者が戻れる労働環境を構築していただきたい。

今の環境では地域医療が崩壊寸前であると聞いております。重要な問題なので関係機関に働きかけを早急に御願います。未曾有の大震災、原発事故の被害を受け、南相馬市民は今まで経験したことのない大問題に直面しています。復旧、復興のため関係者の更なるご努力を御願います。

12 月の定例会 (予定)

- 12 月 5 日(月)
本会議…会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案の提出及び説明
- 12 月 8 日(木)
本会議…一般質問
- 12 月 9 日(金)
本会議…一般質問
- 12 月 12 日(月)
本会議…一般質問
- 12 月 13 日(火)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
- 12 月 14 日(水)
委員会…総務、文教福祉、建設経済常任委員会
- 12 月 15 日(木)
委員会…決算審査特別委員会
- 12 月 16 日(金)
委員会…決算審査特別委員会
- 12 月 22 日(木)
本会議…委員長報告(質疑、討論、表決)

※この日程は変更されることがあります。
議会を傍聴する際には、日程をご確認下さい。
●問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・本会議インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録(本会議)などを掲載していますので、ご覧下さい。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信(本会議のおおむね 5 日後)でご覧いただけます。あわせてご覧ください。

下記のアドレスへ、アクセスしてみてください。
南相馬市ホームページ
<http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

○請願・陳情の提出をされる方へ：次回の 12 月定例会においては、11 月 28 日(月)午後 4 時までに提出してください。

編集後記

東日本大震災による南相馬市の犠牲者は 640 人にのぼります。これだけ多くの「大切な人」との死別を強いられ、しかも原発事故によって十分な弔いができなかったと感じている残された人々の「痛み」を想うと、改めて原子力災害の理不尽さを恨まざるをえません。

遺族が背負うであろう「痛み」から、それぞれのペースで回復していくための社会的支援がなにより必要です。しかし復興の柱は社会経済基盤の回復に偏りがちで、「心のケアが大事」という一般論におちいつてしまうことを懸念します。

人が生きる意味を見いだせてこそその復興です。

私たちは、人生を回復したいと願う人びとの思いに耳を傾け、傍らに寄り添いながら、暴力と化した原子力の脅威をはねのける勇気を失うことなく、人間性や自然との共生を重んじた地域の再生に取り組んでまいります。

鈴木昌一

市議会だより編集委員会

委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
渡部	田中	鈴木	田中	京子	寛一
健一郎	弘一	大正	中山	奥村	大村